

令和7年5月21日

内閣総理大臣

石破茂 殿

法人の名称

一般財団法人本多日生記念財団

代表者の氏名

大塚 正純

公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、別紙のとおり 令和 6 年度（ 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで）の公益目的支出計画実施報告書等を提出いたします。

【別紙1:法人の基本情報】

法人コード	A001783
-------	---------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンザイダンハウジンホンダニッショウキネンザイダン				
法人の名称	一般財団法人本多日生記念財団				
主たる事務所の住所及び連絡先					
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等		補足住所
	114-0023	東京都	北区滝野川2丁目36番3号		
代表電話番号	03-3910-4558		内線		FAX番号 03-5395-1054
代表電子メールアドレス	touitu@po2.cnet-ta.ne.jp,space-n@oregano.ocn.ne.jp,saijyou-ie@kjc.biglobe.ne.jp,souken@iva.jp				
ホームページの有無	有				
ホームページアドレス	http://hondanisscho.jp/				
代表者の氏名	大塚 正純				
事業年度	4月	1日～	3月	31日	
事業の概要	仏教文化の現代的理解を促進するため、近現代関係資料の蒐集及び保管並びに公開、仏教書編集の技術提供及び人材育成、講演・講習会の開催及び海外仏教徒の活動支援、機関誌・出版物等の刊行等を行う。				

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の概要】

1. 公益目的財産額	174,011,702 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(+ -)	121,289,775 円
前事業年度末日の公益目的収支差額	112,616,392 円
当該事業年度の公益目的支出の額	8,999,383 円
当該事業年度の実施事業収入の額	326,000 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	52,721,927 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
変更認可申請の計画作成時点の見込みに比べ、昨年度末日の公益目的支出額が計画における見込額を上回るとともに、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を上回ったものであり、計画上の完了見込みに変更はない。	

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	・ 計画上の完了見込み	令和15年3月31日
	・ より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	174,011,702 円	174,011,702 円	174,011,702 円	174,011,702 円	174,011,702 円
公益目的収支差額	110,341,811 円	112,616,392 円	117,566,302 円	121,289,775 円	124,790,793 円
公益目的支出の額	7,704,491 円	8,121,393 円	7,704,491 円	8,999,383 円	7,704,491 円
実施事業収入の額	480,000 円	326,000 円	480,000 円	326,000 円	480,000 円
公益目的財産残額	63,669,891 円	61,395,310 円	56,445,400 円	52,721,927 円	49,220,909 円

前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	1	資料保存公開事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>本事業全体の趣旨は、財団設立淵源より、百二十余年にわたる資料の護持、補填を行い、一般の閲覧と利用に供するとともに、法華教団及び周辺文化を含めた明治、大正期を中心とする「近現代法華資料データバンク」を構築し、一般の閲覧、研究者へ広く提供することです。</p> <p>1 基礎資料整備・公開</p> <p>(1)事業内容 仏教の正しい理解を促進するため、研究に必要な基礎書籍や辞典、図版資料を整備し、併せて利用の案内、広報のホームページを運営します。</p> <p>(2)所蔵する書籍、辞典、図版資料の所蔵点数 所蔵する書籍、辞典、図版資料は、東京都北区の主たる事務所及び音羽TIDビル財団事業所に収蔵しており、所蔵数は以下の通りです。 ・書籍類1,500点 ・辞典類50組 ・図版資料(データ・ボジ・紙焼)10,000点</p> <p>(3)対象者:当財団のホームページ及び発行誌にて、広報し、広く一般の利用、公開に供します。なお、利用や閲覧は、無料としております。</p> <p>(4)事業実績 平成21年度は、年間で約400人の方々が来館し、資料等を閲覧されております。また、資料基礎は、データ化し、当財団のホームページに常時掲載しております。</p> <p>(5)事業実施に必要なもの 職員は、専属の担当職員を配置するほか、繁忙期は、アルバイトやボランティアを募集し、公開業務の一部を委託しております。また、閲覧施設は、適切に公開用のスペースを設けるほか、資料を蓄積するための整理IT機器を整備しております。</p> <p>(6)財源:主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>2 備蓄資料のデータ化</p> <p>(1)事業内容 当財団の備蓄資料の劣化や散逸を防ぎ検索や閲覧を促進するため、収蔵資料をPDF、又はTIFF形式にて電子画像データ化と検索リストを作成します。これらの資料等は、約100年に及ぶ膨大な量であり、その資料を後世に残すことと、研究者及び一般の求めに応じて公開利用に供するため、平成20年から実施しております。</p> <p>(2)対象者:当財団のホームページ及び発行誌にて、広報し、広く一般の利用、公開に供します。なお、この公開利用は、無料としております。</p> <p>(3)事業実績 日蓮宗関係雑誌については、主要誌は既にデータ化を完了しております。ホームページにて公開している当財団発行の明治29年創刊「統一」誌のほか、関係雑誌の総目録を利用して、研究者からの問い合わせについては、該当部分をPDF化してデータ送付のサービスを実施しております。</p> <p>(4)事業実施に必要なもの 職員は、専属の担当職員を配置するほか、繁忙期は、アルバイトやボランティアを募集し、公開業務の一部を委託しております。また、電子データ化を行うため、スキャニングスペース、PC機材、データバンク用機材、処理ソフトを整備しております。</p> <p>(5)財源:主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>3 近現代資料調査保存サービス</p> <p>(1)事業内容 全国寺院や一般家庭に眠っている近現代の法華系諸派の雑誌や書簡、古写真等の史料を保存し、その散逸を防ぎその価値を維持します。基本的に所蔵地に出向し、資料の撮影複写と除菌、密閉、殺虫し重要部画像と報告書を作成し現資料の保存処置をし、文化の風化を防ぐ無償出向サービスを行います。</p> <p>(2)対象者:当財団のホームページ及び発行誌にて、全国の寺院、一般から依頼を募ります。なお、この近代資料調査保存サービスは、無料としております。</p> <p>(3)事業実績 この事業は、平成21年度から開始しており、寺院と一般所蔵者、それぞれ1箇所において実施しました。</p> <p>(4)事業実施に必要なもの 職員は、専属の担当職員を配置するほか、繁忙期は、アルバイトやボランティアを募集し、公開業務の一部を委託しております。また、この事業には、ノートPC・スキャナー・カメラ・機材搬入移動用車両(現在は職員の自家用を使用)・資料簡易燻蒸室・保管庫を使用しております。</p> <p>(5)財源:主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>4、機関誌「統一」発行</p> <p>(1)事業内容 仏教教義、宗学に関する知識と文化及び法華諸教団の現況を広報するために、機関誌「統一」を編集し(完全版下入稿)年4回、発行しております。これを賛助会員や一般申込者に送付しております。</p> <p>(2)機関紙「統一」の単価及び発行部数 年4回発行、購読料、年間購読料1000円、1冊ごとの販売200円 印刷製本費は、1号あたり約16万円(完全版下出稿)になります。機関紙「統一」は、客観的視点で執筆された原稿であり、宗派、門派を問わず掲載しますので、特定宗派の広報となる機関紙ではありません。</p> <p>(3)事業実績 年4回、発行しております。機関紙「統一」は、宗教系の雑誌の中では、最長の発行期間となっております。</p> <p>(4)財源:主な財源は、購読収入と収益事業部門(旧特別会計から公益事業会計)から繰入金としております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p>	

5 近現代の日蓮聖人伝・評伝等の版權、著作権者の調査、資料化

(1)事業内容

日蓮の評伝を調査し、日本における法華信仰の代表的伝道者である日蓮の伝記類がいかに語られ伝えられてきたか、その出典を明らかにし、伝説に対する研究、理解に資するため、江戸期から幕末、明治の伝記類と日蓮主義運動が開花した大正、昭和初期の著作について調査を行います。

(2)対象者：一般及び研究者並びに仏教系出版社

(3)事業実績

平成18年から図書館所蔵の著作調査に着手しました。平成18年は、日蓮聖人伝関係著作リスト(1年間ホームページ公開)を作成しました。平成20年と21年には、映画「明日への遺言」主人公の岡田資氏の遺著「毒箭」について発行しました。

(4)財源：主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。

6 明治、大正、昭和の当財団周囲の活動を日録形式基礎資料化

(1)事業内容

日蓮主義運動の胎動期の明治、開花した大正、昭和初期の文化、資料を公開していく上で必要になる基礎データを作成し、正確な資料を確実に提供するため、明治期からの当財団刊行物の内容を解析し、主要な内容を抽出して、一般や研究者へ提供します。

(2)事業実績

平成7年に機関誌「統一」の総目録の作成に着手しております。平成12年から、機関誌「統一」総目次をホームページに公開しております。

(3)財源：主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。

7 創立者本多日生上人の事績顕彰及び銅像の護持

(1)事業内容

明治期に仏教教団の近代化に多大な影響を与えた当財団創立者である本多日生上人の宗教、宗派間の対話交流の遺志を後世に伝え、日本の精神、文化に寄与します。記念建造物である日蓮宗総本山身延山久遠寺境内の創立者銅像に定期的に献花し、銅像の状況を把握、護持し身延山参拝者の拝覧に供する。

(2)対象者：日蓮宗総本山身延山久遠寺及び本山参拝者(一般)

(3)事業実績

昭和47年に日蓮宗総本山身延山久遠寺に銅像を建立し、以後、継続的に実施しております。毎月16日には、献花(依託)するほか、随時、清掃と参拝を行っております。

(4)財源：主な財源は、収益事業から繰入しております。当財団は、通常の献花として年間約7万円を負担します。参拝などは個人負担としております。銅像の修理が必要となった場合には、寄附を募りますが、資金が不足する場合は、不足分を当財団が負担します。

当該事業に係る公益目的支出の見込額	3,785,337 円
当該事業に係る実施事業収入の見込額	480,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について
<p>1.基礎資料整備・公開 内容：基礎書籍・図版資料整備し財団ホームページ及び発行誌にて広報し一般公開 (主たる実施内容)</p> <p>(1)発行・備蓄資料のPDF化及び無償公開の為に電子ブックサイトの開設・別サイト移行管理(http://hondanisssho.jp/) (2)基礎資料の整備・補充・分類・保存・調査を行った史料の整理・書籍・資料・文献の整理(公開) (3)収蔵書籍の公開・貸出・PDF化送信 / HP内問い合わせフォーム等からの求めに応じ無償対応 (4)財団公式ホームページの管理運営と大容量新サイトの開設及びクラウドFTPの設置運営(XサーバーFTP)</p> <p>2.備蓄資料のデータ化 内容：収蔵資料中一般より問い合わせの多い「統一」誌全巻全頁をPDFカラー化と検索リストを連動して一般公開 (主たる実施内容)</p> <p>(1)日宗新報(創刊号より最終号迄PDF化 / 軽量化を実施) (2)統一(全巻全頁を複写新規架蔵PDF化新サイトに移行完了・財団HPにて公開 / 補填部分も別途アップする) (3)「日蓮宗事典」(日蓮宗年表・日蓮聖人遺文を含め「日蓮宗新電子聖典」としてDokuWiki上に展開する制作実務等補助作業を実施) (4)「観心本尊抄」原本カラー漢訳・訓読対照データ作成 書籍化入力作業(庵谷行亨教授が現在後半を執筆中 / 昨年来未決) (5)「新編日蓮宗年表」(上記にてブラウザ読み込みUSB及びDokuWiki上に展開公開したものの正誤を解析した) (6)仏教関連資料のアーカイブ化に欠かせない難読漢字、ユニコード8第3水準までの表示可能文字のコード一覧の作成を更新を継続</p> <p>3.近現代資料調査保存サービス 内容：資料撮影複写保存修理(出向)サービス (主たる実施内容)</p> <p>(1)桐谷征一「中国石刻経・拓本」(撮影・保存処理・デジタル化・雷音洞内部拓本6面透視図説明作成・継続 / 出版は遅延として進まず) (2)真訓両読妙法蓮華経並開結活字版(大正2年法華経普及会=本多日生企画のPDF化、近日公開) (3)佐藤鐵太郎中将書簡(燻蒸・乾燥・脱酸素保存 / 妹尾義郎「若人」の蒐集・データ化) (4)小林一郎博士の晩年の講義(「撰時抄」「安国論」他)速記清書原稿の燻蒸・乾燥・脱酸素保存。 他は担当者の体調不良にて保留</p> <p>4.機関誌「統一」発行 内容：財団発行誌「統一」編集発行 (主たる実施内容)</p> <p>(1)1・4・7・10月の各1日各1200部発行 / 通年4800部</p> <p>5.近現代の日蓮聖人伝・評伝等の版權、著作権者の調査・資料化 内容：明治期からの財団刊行物の内容を解析し主要な内容を抽出・解析PDF化 (主たる実施内容)</p> <p>(1)「宗義考空全集」(明治21年～28年)総目次作成、データ化田に補修、製本)</p>

- (1)『示我専九玄師』(明治21年～28年)総目次作成・PDF化用に補修・装平)
 (2)『統一』誌掲載本多日生の行動記録のリスト化(継)
 (3)『天晴会講演録』(全3巻二千頁以上のPDF化完了・高精細と軽量の二種作成)
 (4)法華三部経大講義(インデザインデータ化済みの再校正・微調整)

6.明治・大正・昭和の財団周囲の活動の基礎資料化
 内容:明治期からの財団刊行物の内容を解析し主要な内容を抽出・解析PDF化
 (主たる実施内容)
 (1)『統一』全巻PDF化したことに連動して、旧来の作業をPDFからの主要データの抽出、一部はテキストデータと重ねる

7.創立者本多日生上人の事績顕彰及び銅像の護持
 内容:日蓮宗総本山身延山久遠寺境内所在創立者銅像の顕彰・護持の助成(什師会からも補助)
 (主たる実施内容)
 (1)身延松本花店へ依頼し清掃・献花・銅像護持状況確認(1、11月)
 (2)本多上人命日に天妙国寺にて法要・墓参

当該事業に係る公益目的支出の額	4,421,802 円
当該事業に係る実施事業収入の額	326,000 円
(-)の額	4,095,802 円
当該事業に係る損益計算書の費用の額	4,661,908 円
当該事業に係る損益計算書の収益の額	326,000 円

及び 注1 に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由

当該事業年度の実施事業収入額及び公益目的支出の額が計画と異なっているが、計画通り事業を実施しており軽微な誤差である。
 なお、これらによる公益目的支出計画全体の実施に影響を与えることはない。

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号注2	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ 1	土地 文京区音羽1丁目417 番1他2筆	22,550,000 円	円	1,757 円	1,757 円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用
ハ 1	建物 文京区音羽1丁目417 番3号	15,293,000 円	円	29,298,015 円	27,763,456 円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用
ハ 2	電話加入権	1,640 円	円	43,043 円	43,043 円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

「損益計算書の収益の額」に対応した 「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の 収益の額	実施事業 収入の額	の額の算定に当たっての考え方 注3
機関誌購読賛助金	191,000 円	191,000 円	購読料及び同時にいただく賛助金
受取寄付金	135,000 円	135,000 円	機関誌に付随する寄付金
計	326,000 円	326,000 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

「損益計算書の費用の額」に対応した 「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の費用の額	公益目的支出の額	の額の算定に当たっての考え方 注4
減価償却費	295,683 円	55,577 円	建物は、公益目的財産額算定に当たり時価評価を行ったため、減価償却費については当該時価を基に算出した額を公益目的支出の額とする。
その他	4,366,225 円	4,366,225 円	上記以外の科目については、異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。
計	4,661,908 円	4,421,802 円	

注4: と が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を 及び 欄に記載してもかまいません。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	2	仏教出版支援事業

(1) 計画記載事項

事業の概要
<p>(1) 事業の概要について 本事業全体の趣旨は、仏教とその精神文化を世に広く紹介し、研究者等に発表の機会を提供するため、仏教書や研究書、論文発表に伴う企画と編集等の技術を指導するとともに、図版や基礎資料の提供を行います。これをもって、仏教書編集技能を持った人材を育成します。</p> <p>1 仏教関係の画像データの提供 (1) 事業内容 仏教関係の論文及び書籍編集、研究者の画像データの参照に供するため、仏教関係画像データが正確に用いられ良質な画像を提供します。当財団は、音羽事業所にパーソナルコンピュータを設置し、これを用いて、機関誌及びホームページを閲覧して、来館した一般、研究者、編集関係者に閲覧していただいております。また、ご要望に応じて、使用許諾範囲が許す場合は、使用範囲を明示して、画像データを提供します。これらの事業は、無料としております。</p> <p>(2) 事業実績 この事業は、平成11年から実施しております。法華系寺院の図版は、常時1万余点を収蔵しております。北海道、満州開教の図版資料や専門研究分野の図版も備蓄整備し研究者の発表の用に供しました。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>2 近現代史・法華系資料の提供 (1) 事業内容 仏教関連研究、近現代史歴史研究に寄与するため、当財団が備蓄する資料を提供するため、データバンク化し、研究者や一般にサーバーにアクセスすることを許可し、広く一般に公開します。</p> <p>(2) 事業実績 この事業は、平成19年8月から実施しております。資料のデータバンクは、平成20年から設置しております。館内でのご利用の場合は、無線LANの同期カードを無償で貸し出ししております。また、必要に応じて資料を複写するためにカラーコピー機やCDRなどを設置し、原則、無料でご利用していただいております。さらに、ホームページ開設時より現在に至るまで、メールにての問い合わせに応じ、大きなデータに関してはFTPサーバーへのアクセスを許可し、ダウンロード出来るようにしております。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>3 仏教出版・資料整理の人材育成 (1) 事業内容 仏教とその精神文化を世に広く紹介し、研究者等の発表の技術的負担を軽減するために、仏教書や研究書、論文発表に伴う企画編集等の基本データの提供と技術指導を、仏教書発行希望者及び研究者に無償で提供します。なお、技術指導を行うものは、仏教関係出版組織で28年間、編集の実務に携わった経験のある当財団職員が担当し、仏教出版・資料整理の人材育成を行っております。</p> <p>(2) 事業開始 この事業は、平成20年から実施しております。平成20年は、一般や歴史研究者の大部の論文をPDF化して提供しました。平成21年は、寺院関係よりの出版助成申請により、パンフレットの編集用データを提供しました。現在は、日本における中国石刻経研究の成果を出版可能な形式に再構築中です。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>4 講演会、講習会の開催 (1) 事業内容 仏教教義及び日蓮教学の学習及び発表者の資質向上のため、毎月1回、本部において、講演会を開催しております。また記念講習会を3月16日の創立者の法要にあわせ開催しております。講演会や講習会の機関誌「統一」購読者が中心になりますが、一般の参加も自由と案内しております。なお、講習会の講師は、評議員会において、広く見識ある講師候補を求め特定集に限定せず選定しております。講演会は、当財団本部の常務理事経験者が中心となって、当財団役員や役員等の経験者が、仏教に関する深い知識について講演を行っています。講習会、講演会は無料で開催しております。</p> <p>(2) 事業実績 この事業は、昭和6年から継続して実施しております。なお、記念講習会は昭和47年頃から実施しております。講演会は、毎月第2日曜日に開催しております。参加者は、毎回、平均10名程度です。講習会は3月16日に開催し、参加者は、25名程度ですが、近年は、参加者の高齢化が進み、減少傾向にあります。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>(4) その他 継続事業3区分のうち、継2事業に講演会・講習会を区分したのは、当財団設立当初(以前)から講習会など参加者を中心に出版支援、データ提供、技術提供の要が生じるためです。</p> <p>5 当財団版權・著作権所有の既刊本データの提供 (1) 事業内容 明治、大正時代の日蓮主義運動を中心とした著作を世に広く紹介し、歴史研究と近現代の研究の基礎資料に供するため、当財団版權、著作権所有の現在入手困難な既刊本データを適宜作成し、近現代研究者や復刻刊行希望者に提供します。</p> <p>(2) 事業実績 この事業は、平成4年から実施しております。研究者の求めに応じて、研究用に当財団備蓄書籍のコピーを作成し、無償で提供しております。主な書籍は、「聖語録」(昭和4年)、「天晴会講演録」全3巻などです。</p>

平成24年度の提供の実績は、天晴会講演録の全3巻、総ページ数2,000頁程度をコピーし無償で提供しました。

平成21年度の提供の実績は、大晴会講演録の全3集、総ページ数2,000頁超を、コピーし無償で提供しました。

(3)財源

主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。

当該事業に係る公益目的支出の見込額	2,488,560 円
当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>1.仏教関係の画像データの提供 内容:財団保有の技術・画像データ等の提供・出版助成 (主たる実施内容) 『病院チャブレンとスピリチュアルケア』(古澤有峰)出版助成24万円・東京大学出版協会より刊行予定 未刊 / 継続・報告待ち 『近代皇室と仏教』(石川泰史氏)組版・EPAB2キンドル化(著者の希望でamazonに出店・著者は電子ブック頒布) 『中国石刻経の研究』(桐谷征一編著)組版・印刷データ構成 / 作業遅れ継続 / 外字(作字画像)UT-8対応文字化並列進行 / 停止中 『法華』誌(一財団法人法華会)渡邊寶陽「法華経大講座」の組版提供の修正版作成 『日蓮聖人五大部講義』(土屋信裕師著の組版一部印刷費助成・海鳥社から発売中) 法華経並開・結の真訓及びブルビ付組版(制作中法華経WEB)を長崎県教化センターHPにて一般公開中(データ無償仲介実施) その他本多日生上人著作など、Eパブキンドルデータ作成助成</p> <p>2.近現代史・法華系資料の館内PC及びFTPサーバー無償閲覧 内容:財団備蓄資料・解析資料を館内データバンク及びサーバーアクセスに公開 (主たる実施内容) データ閲覧・資料請求対応(現在、多くの要望は財団公式サイトにて『統一』誌公開総目次と連動するPDFデータ) 電子ブックサイトの現行PDF版をEPAB キンドル対応に再入力完了</p> <p>3.仏教出版・資料整理の人材育成 内容:仏教書・研究書・論文発表に伴う企画・編集等の基本データの提供と技術指導 (主たる実施内容) 中国拓本資料のデータ化(桐谷征一師蓄積拓本データを書籍化 初刊解説編も遅延として進まず) 仏教語・日蓮1万語超のATOK辞書データを提供し求めに応じてPCへの組込、使用方法などサポート(継5月更新) 真訓両読法華経並開結の新版(B 連動 / 作成準備 / 書籍化検討 / 本年度はデータを揃え保管)</p> <p>4.講演会・講習会・学習会の開催 内容:本化ネットワーク研究会を発展させ「法華コモンズ」として各種講座を開設 (主たる実施内容) 法華コモンズ仏教学林に講師招聘助成を実施(講義目録及びWEBにて随時ブログ配信 / 組版助成した本化叢書データの提供)</p> <p>5.財団版権・著作権所有の既刊本データの提供 内容:財団版権・著作権所有の入手困難既刊本データの提供 (主たる実施内容) 公開著作目録等による遠隔地よりの書籍閲覧請求については電子ブックサイトに一定期間(最大6ヶ月)公開</p>	
当該事業に係る公益目的支出の額	2,947,663 円
当該事業に係る実施事業収入の額	0 円
(-)の額	2,947,663 円
当該事業に係る損益計算書の費用の額	3,187,769 円
当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円
及び に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
<p>当該事業に係る公益目的支出の額が計画と異っているが、計画記載どおり事業を行っており、軽微な誤差により差額が生じたものである。 なお、これによる公益目的支出計画全体の実施に影響を与えることはない。</p>	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}		資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ	1	土地 文京区音羽1丁目417 番1他2筆	17,600,000 円	円	1,371 円	1,371 円	計画どおり引き続き当該事業で 使用。
ハ	1	建物 文京区音羽1丁目417 番3号	11,936,000 円	円	24,064,448 円	22,804,010 円	計画どおり引き続き当該事業で 使用。
ハ	2	電話加入権	1,280 円	円	33,595 円	33,595 円	計画どおり引き続き当該事業で 使用。

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2…a1…など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

「損益計算書の収益の額」に対応した「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書 の収益の額	実施事業 収入の額	の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
	円	円	
	円	円	
計	0 円	0 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

「損益計算書の費用の額」に対応した「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書 の費用の額	公益目的 支出の額	の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
減価償却費	295,683 円	55,577 円	建物は、公益目的財産額算定に当たり時価評価を行ったため、減価償却費については当該時価を基に算出した額を公益目的支出の額とする。
その他	2,892,086 円	2,892,086 円	上記以外の科目については、異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。
計	3,187,769 円	2,947,663 円	

注4: と が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を 及び 欄に記載してもかまいません。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	3	研究交流助成事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>(1) 事業の概要について 本事業全体の趣旨は、仏教徒の交流、法華系各宗派の交流の支援及び海外の仏教徒への現地語經典の作成提供を行うことで、日本の仏教文化の発展と国際交流に貢献します。</p> <p>1. 法華系各宗派の情報・データ等の提供・提携</p> <p>(1) 事業内容 明治、大正時代の日蓮主義運動で各派合同の機運があるも、現在、再び分派している法華系教団間の研究と学習等における連携と研究分野の資質向上を図るため、任意に開催されている各派の法華系諸学習会・研究会に協力し、必要に応じて活動に対して助成を行います。これにより、法華各宗派、ひいては日本の仏教界の交流促進と信徒・檀信徒間の交流を促進します。 具体的には、本化ネットワーク、地涌塾、日蓮仏教研究所、北海道の宗学者へ、その求めに応じて資料の提供や会議への参加、講師派遣、助成などを行います。各宗派の交流の為に助成は、講師料の一部助成や関係者が著作物を出版する際の費用を一部負担する出版助成があります。</p> <p>(2) 対象者 法華系各派及びその信徒、研究者(当財団の前身・浅草統一閣は曾ての法華各派宗務院として機能)です。研究者や任意団体などは、活動や発表等の内容を考慮し、当方からコンタクトしております。</p> <p>(3) 事業実績 当財団の前身は、明治29年の法華門下各派の共同研究発表・意見交換の場として創設されております。その伝統を継ぎ、平成19年に生まれた本化ネットワーク研究会などの活動を支援しております。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>2. 海外仏教徒用教材、經典の製作、提供</p> <p>(1) 事業内容 海外仏教徒への活動支援と国際親善を促進するため、現地語翻訳法華經の製作し無料提供します。また、この事業を支援するため、支援団体に対し、寺院や仏教徒向けの支援案内パンフレットの作成助成を行います。</p> <p>(2) 事業実績 海外仏教徒への現地語翻訳經典作製は、平成14年から行っております。翻訳經典の提供は、クメール語、ヒンディー語版を作成しました。また、データの提供や改訂版データの構築も行っております。さらに、英語版經典データの構築及び布貼折り本、同簡易版の製作と提供も行っております。 平成21年度は、英語版折本經典を500冊を無料で提供した(1冊当たりの単価は714円である)。 外国語版の經典を無償で提供することの効果としては以下のものがあります。 ・英語版以外のクメール語やヒンディー語で經典を作製し、無料提供します。それらの国では仏教徒は経済システムの底辺にある者も多く、そうした仏教徒に自立への希望と誇りを与えることができます。 ・經典の無料提供は、配布等に関連する日本国内の有志の活動を助成する側面も持っており、そうした活動に参加する日本国内の仏教徒、寺院、一般参加者においては、そうした国々への支援活動参加の機会を作る契機となり、特に寺院関係においては公益目的活動の拠点として機能する一つの機会となります。 ・さらに無償提供から始まった動きは、現在、多くの宗派、国々を巻き込んだ活動に発展しています。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p> <p>3. 近現代史、宗教社会学等の研究協力</p> <p>(1) 事業内容 近現代史、宗教社会学、宗学(日蓮教学)の研究者や一般を支援するため、学習会等への参加調整・紹介したり、資料所蔵者を紹介したり、資料の入手を代行します。この研究協力は、無料で提供しております。</p> <p>(2) 事業実績 平成4年から東洋大学社会学部学生等の資料検索に協力しております。 当財団が所蔵する資料により、博士号論文提出の例や北海道など遠隔地の研究者の要請に応じ資料検索の上、該当資料の送付したりします。また、書籍等の入手斡旋も行っています。</p> <p>(3) 財源 主な財源は、収益事業から繰入しております。また、不足する場合は、預金を解約し充当します。</p>	
当該事業に係る公益目的支出の見込額	1,430,594 円
当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について
<p>1. 法華系各宗派の情報・データ等の提供・提携</p> <p>内容: 法華系諸学習会・研究会への協力・活動助成 (主たる実施内容)</p>

上記項目 に述べた通り、法華 commons の講師招聘に関する助成金 (講師招聘料助成 毎回 3 万円 年間 36 万円)
妙法慈石会 (静岡県沼津市) の季報作成助成 (最大 6 ヶ月) 継続 / 3 年間進展なし
法華宗陣門流法照山豊顕寺を主体とする門下統合学林についての調査 (三沢檀林が一時期統合運動に協力 / 植物学者ロバート・フォー・チュン氏の描写 / 『横浜の史蹟と名勝』 (昭和三年発行) 『神奈川区誌』等を手掛かりに調査 / 古書店にて資料購入)

2. 海外仏教徒用教材・経典の製作・提供
内容: 現地語翻訳法華経の製作及び無料提供など
クメール語・ヒンディー語・英語の『要約法華経』 (一昨年更新) の電子ブックサイト公開 (E パブ 3 対応組替え)

3. 近現代史・宗教社会学等の研究協力
対象: 資料問い合わせの一般研究者への協力
(主たる実施内容)
遠隔地の研究者・図書館の要請に応じ資料検索・該当資料の送付・書籍等の入手代行

当該事業に係る公益目的支出の額	1,629,918 円
当該事業に係る実施事業収入の額	0 円
(-) の額	1,629,918 円
当該事業に係る損益計算書の費用の額	1,870,024 円
当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円

及び に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由^{注1}

当該事業に係る公益目的支出の額が計画と異っているが、計画記載どおり事業を行っており、軽微な誤差により差額が生じたものである。
なお、これによる公益目的支出計画全体の実施に影響を与えることはない。

注1: この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ 1	土地 文京区音羽1丁目417 番1他2筆	7,150,000 円	円	557 円	557 円	計画どおり引き続き当該事業で 使用。
ハ 1	建物 文京区音羽1丁目417 番3号	4,849,000 円	円	9,776,182 円	9,264,129 円	計画どおり引き続き当該事業で 使用。
ハ 2	電話加入権	520 円	円	13,648 円	13,648 円	計画どおり引き続き当該事業で 使用。

注2: 算定日に有していた資産については、移行認可申請書 (別表 A 公益目的財産額の算定) に記載した資産の番号 (イ1、ロ2・a1・など) を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

「損益計算書の収益の額」に対応した 「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の 収益の額	実施事業 収入の額	の額の算定に当たったの考え方 ^{注3}
	円	円	
	円	円	
計	0 円	0 円	

注3: 実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

「損益計算書の費用の額」に対応した 「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	損益計算書の費用の額	公益目的支出の額	の額の算定に当たっての考え方 注4
減価償却費	295,683 円	55,577 円	建物は、公益目的財産額算定に当たり時価評価を行ったため、減価償却費については当該時価を基に算出した額を公益目的支出の額とする。
その他	1,574,341 円	1,574,341 円	上記以外の科目については、異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。
計	1,870,024 円	1,629,918 円	

注4: と が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を 及び 欄に記載してもかまいません。

別表A〔公益目的支出計画実施報告書〕

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
なし

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記入してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
なし

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したものうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。
また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記載してください。

別表B〔公益目的支出計画実施報告書〕

【引当金等の明細】

(1) 実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		事業		期末残高
					目的使用	その他	区分	番号	
		円	円		円	円			0円
		円	円		円	円			0円
		円	円		円	円			0円

(2) (1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		期末残高
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0円
		円	円		円	円	0円

(3) 「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたものの^注

番号	財産の名称	期首の価額	当期増加額	目的	当期減少額		期末の価額
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0円
		円	円		円	円	0円

注:算定日において、退職給付会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合については、当該未処理額は記載不要です。なお特に記載すべき内容がない場合は空欄のままにしてください。

貸借対照表（前年比）

令和7年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1 流動資産			
現金	262,162	230,575	31,587
普通預金	26,926,062	24,519,818	2,406,244
振替預金	302,133	3,481,486	△ 3,179,353
仮払金	70,000	-	70,000
図書	1,185,852	1,185,852	-
流動資産合計	28,746,209	29,417,731	△ 671,522
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	-
土地	4,285	4,285	-
基本財産合計	10,004,285	10,004,285	-
(2) その他固定資産			
建物	67,715,746	71,458,574	△ 3,742,828
電話加入権	104,984	104,984	-
その他固定資産合計	67,820,730	71,563,558	△ 3,742,828
固定資産合計	77,825,015	81,567,843	△ 3,742,828
資産合計	106,571,224	110,985,574	△ 4,414,350
II. 負債の部			
1 流動負債			
未払金	-	55,550	△ 55,550
預り金	70,630	113,180	△ 42,550
流動負債合計	70,630	168,730	△ 98,100
2 固定負債			
敷金預り金	2,414,500	2,414,500	-
固定負債合計	2,414,500	2,414,500	-
負債合計	2,485,130	2,583,230	△ 98,100
III. 正味財産の部			
1 一般正味財産の部	104,086,094	108,402,344	△ 4,316,250
（うち基本財産への充当額）	(10,004,285)	(10,004,285)	(△30,000,000)
（うち特定資産への充当額）	(-)	(-)	(-)
正味財産合計	104,086,094	108,402,344	△ 4,316,250
負債及び正味財産合計	106,571,224	110,985,574	△ 4,414,350

貸 借 対 照 表 (総括表)

令和 7 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

科 目	公益事業会計	収益事業会計	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	123,744	138,418	262,162
普通預金	912,787	26,013,275	26,926,062
振替預金	302,133		302,133
仮払金	70,000		70,000
図 書	1,185,852		1,185,852
流動資産合計	2,594,516	26,151,693	28,746,209
2. 固定資産			
(1) 基本資産			
定期預金	10,000,000		10,000,000
土 地	4,285		4,285
基本財産合計	10,004,285	-	10,004,285
(2) その他の固定資産			
建物		67,715,746	67,715,746
電話加入権	30,000	74,984	104,984
その他の固定資産合計	30,000	67,790,730	67,820,730
固定資産合計	10,034,285	67,790,730	77,825,015
資産合計	12,628,801	93,942,423	106,571,224
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	70,630		70,630
流動負債合計	70,630	-	70,630
2. 固定負債			
敷金預り金		2,414,500	2,414,500
流動負債合計	-	2,414,500	2,414,500
負債合計	70,630	2,414,500	2,485,130
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	12,558,171	91,527,923	104,086,094
(うち基本財産への充当額)	(10,004,285)	(-)	(10,004,285)
正味財産合計	12,558,171	91,527,923	104,086,094
負債及び正味財産合計	12,628,801	93,942,423	106,571,224

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準（平成20年4月11日平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）」を採用しています。

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

建物・・・定額法によっている。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
土地	4,285	0	0	4,285
小計	10,004,285	0	0	10,004,285
特定資産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	10,004,285	0	0	10,004,285

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
土地	4,285	0	4,285	0
小計	10,004,285	0	10,004,285	0
特定資産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	10,004,285	0	10,004,285	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科目	取得原価	減価償却累計額	当期末残高
建物	297,049,860	229,334,114	67,715,746

5. その他

実施事業資産

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価
土地	3,685	47,300,000
建物	59,831,595	32,078,000
電話加入権	90,286	3,440

土地および建物の時価は、不動産鑑定評価額を使用しており、電話加入権の時価は国税庁の財産評価基準書を基に算定している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の2. において記載している。

2. 引当金の明細

該当なし

正味財産増減計算書（前年比）

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,369	851	5,518
② 受取会費			
機関誌購読賛助会費	191,000	209,000	△ 18,000
③ 事業収益			
家賃収益	13,376,000	12,848,000	528,000
④ 寄付金収益			
受取寄付金	135,000	117,000	18,000
⑤ 雑収益			
受取利息	12,231	215	12,016
雑収益	1,702,008	1,738,968	△ 36,960
経常収益計	15,422,608	14,914,034	508,574
(2) 経常経費			
① 事業費			
役員報酬		160,138	△ 160,138
給料手当	5,173,000	5,253,000	△ 80,000
福利厚生費	599,694	586,644	13,050
会議費		64,515	△ 64,515
水道光熱費	766,649	661,358	105,291
旅費交通費	43,449	38,650	4,799
消耗品費	2,300	62,678	△ 60,378
通信費	94,185	98,140	△ 3,955
機関誌印刷費	1,483,350	682,000	801,350
図書資料費	15,626	335,499	△ 319,873
広報・展示制作費	12,000	12,000	-
講習会・学習会費	120,000	120,000	-
出版助成費	440,000	360,000	80,000
修繕費	580,000	1,044,780	△ 464,780
賃借料	345,620	328,900	16,720
減価償却費	3,742,828	3,742,828	-
諸謝金	236,272	163,136	73,136
委託料	2,207,093	3,283,360	△ 1,076,267
諸会費	13,500	13,500	-
支払手数料	105,475	142,560	△ 37,085
租税公課	1,565,300	1,173,500	391,800
渉外費		88,248	△ 88,248
雑 費	102,253	179,839	△ 77,586
② 管理費			
給料	792,000	792,000	-
福利厚生費	81,776	78,376	3,400
旅費交通費	20,101	38,252	△ 18,151
諸会費	50,000	20,000	30,000
通信費	207,235	225,422	△ 18,187
消耗品費	134,444	129,852	4,592
賃借料	642,158	257,400	384,758
雑 費	162,550	230,550	△ 68,000
経常経費計	19,738,858	20,367,125	△ 628,267
当期経常増減額	△ 4,316,250	△ 5,453,091	1,136,841
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益			
(2) 経常費用			
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 4,316,250	△ 5,453,091	1,136,841
正味財産期首残高	108,402,344	113,855,435	△ 5,453,091
正味財産期末残高	104,086,094	108,402,344	△ 4,316,250

一般財団法人本多日生記念財団 令和6年度正味財産増減計算書の事業別区分経理の内訳表

令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計					その他会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	経1	経2	経3	共通	小計	他1	他2	共通	小計			
	資料保存 公開事業	仏教出版 支援事業	研究交流 助成事業			テナント 貸付事業	出版・受託 事業					
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,369	0	6,369
基本財産受取利息					0				0	6,369		6,369
② 受取賛助金	191,000	0	0	0	191,000	0	0	0	0	0		191,000
機関誌購読賛助金	191,000				191,000				0			191,000
購読志納金					0				0			0
③ 受取寄付金	135,000	0	0	0	135,000	0	0	0	0	0		135,000
受取寄付金	135,000				135,000				0	0		135,000
③ 図書事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
図書事業収入					0		0		0			0
出版事業収入					0				0			0
③ 賃料収入	0	0	0	0	0	13,376,000	0	0	13,376,000	0		13,376,000
家賃収入					0	13,376,000			13,376,000			13,376,000
その他収入					0	0			0			0
④ 繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000,000	5,000,000	0
収益事業繰入金収益					0				0	5,000,000	5,000,000	0
⑦ 預金解約収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
預金解約収益					0				0			0
⑦ 預り敷金受入収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
預金解約収益					0				0			0
⑤ 雑収益	0	0	0	0	0	1,712,720	0	0	1,712,720	1,519		1,714,239
受取利息					0	10,712			10,712	1,519		12,231
雑収益					0	1,702,008			1,702,008			1,702,008
経常収益計	326,000	0	0	0	326,000	15,088,720	0	0	15,088,720	7,888	5,000,000	15,422,608
(2) 経常費用												
事業費	4,661,908	3,187,769	1,870,024	0	9,719,701	6,715,433	1,213,460	0	7,928,893	0		17,648,594
役員報酬					0	0	0		0			0
給与	2,120,930	1,655,360	931,140		4,707,430	362,110	103,460		465,570			5,173,000
福利厚生費	215,890	167,914	95,951		479,755	35,982	83,957		119,939			599,694
旅費交通費	3,465	2,695	1,540		7,700	26,812	8,937		35,749			43,449
消耗品費	0	0	0		0	1,725	575		2,300			2,300
臨時雇賃金		0			0		0		0			0
賞与引当金繰入支出						0	0					0
会議費	0	0	0		0	0	0		0			0
水道光熱費	291,327	268,327	114,997		674,651	61,332	30,666		91,998			766,649
機関紙印刷費	667,508	519,173	296,669		1,483,350	0	0					1,483,350
図書資料費	7,032	5,469	3,125		15,626	0	0		0			15,626
外部学習会助成費	0	0	0		0	0	0					0
什器備品費	0	0	0			0	0					0
通信費	35,790	32,965	14,128		82,883	7,535	3,767		11,302			94,185
運搬費	0	0	0			0	0					0
広報・展示費	2,760	9,240			12,000	0	0					12,000
会場費						0	0					0
寄贈資料作成費	0				0	0	0					0
交際費						0	0					0
講習会費・学習会		40,000	80,000		120,000	0	0					120,000
修繕費	8,700	8,700	8,700		26,100	539,400	14,500		553,900			580,000
賃借料	0	0	0		0	259,215	86,405		345,620			345,620
減価償却費	295,683	295,683	295,683		887,049	2,855,779			2,855,779			3,742,828
諸謝金	143,532	17,740			161,272	56,250	18,750		75,000			236,272
委託料	409,044	50,556			459,600	1,310,620	436,873		1,747,493			2,207,093
諸会費						10,125	3,375		13,500	0		13,500
リース料						0	0					0
支払手数料	37,971	36,916	15,821		90,708	8,438	6,329		14,767			105,475
出版助成費	391,600	48,400			440,000	0	0					440,000
図書減少費						0	0		0			0
租税公課	0	0	0		0	1,173,975	391,325		1,565,300			1,565,300
渉外費						0	0		0	0		0
保険料	0	0	0		0	0	0		0			0
雑費	30,676	28,631	12,270		71,577	6,135	24,541		30,676			102,253
管理費										2,090,264		2,090,264
給与										792,000		792,000
福利厚生費										81,776		81,776
旅費交通費										20,101		20,101
会議費										0		0
諸会費										50,000		50,000
通信費										207,235		207,235
消耗品費										134,444		134,444
賃借料										642,158		642,158
雑費										162,550		162,550
経常費用計	4,661,908	3,187,769	1,870,024	0	9,719,701	6,715,433	1,213,460	0	7,928,893	2,090,264		19,738,858
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,335,908	△ 3,187,769	△ 1,870,024	0	△ 9,393,701	8,373,287	△ 1,213,460	0	7,159,827	△ 2,082,376		△ 4,316,290

一般財団法人本多日生記念財団 令和6年度正味財産増減計算書の事業別区分経理の内訳表

令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計					その他会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	経 1	経 2	経 3	共通	小計	他1	他2	共通	小計			
当期経常増減額	△ 4,335,908	△ 3,187,769	△ 1,870,024	0	△ 9,393,701	8,373,287	△ 1,213,460	0	7,159,827	△ 2,082,376		△ 4,316,250
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益										0		
経常外収益計					0				0			0
(2) 経常外費用												
経常外費用計					0				0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額					0				0	5,000,000	5,000,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,335,908	△ 3,187,769	△ 1,870,024	0	△ 9,393,701	8,373,287	△ 1,213,460	0	7,159,827	△ 7,082,376	△ 5,000,000	△ 4,316,250

継続事業 資料保存公開事業（予算書 A）／資料の蓄積、広報及び近現代史資料調査保存サービス

【基本姿勢】財団設立淵源より百二十余年にわたる資料の護持・補填を行い、一般の閲覧・利用に供し、法華教団及び周辺文化を含めた明治・大正期を中心とする「近現代法華資料データベース」を構築し一般の閲覧・研究者の利用に供する。

① 基礎資料整備・公開（継・エクセル正味財産増減計算書連動・以下の項目同）

《主たる実施内容》

①発行・備蓄資料の PDF 化及び無償公開の為の電子ブックサイトの補填・管理・新資料図書の追加

（<https://contendo.jp/store/hondakinenzaidan/Product/List/showtype/thumbnail/?>）／新公式サイトに完全移行 **<http://hondanisscho.jp/>** 本

多日生→検索

新たにホームページを容量の多いドメインを取得し汎用性の高いワードプレスソフト上で再構築。デザインも大幅にリニューアルし容量大きな画像資料についてもサイト内にアップ・ダウンロードできる閲覧機能を設置し、URL もドメイン化（<http://hondanisscho.jp/>）して百年に及ぶ『統一』誌をカラーPDF で「統一総目次」と対応して検索閲覧出来るよう、PDF 化、実施公益事業を公開。コロナ感染等が拡がって、来館者への対応が出来ない状況に対応。誌面閲覧が音羽の財団事務・公開室での公開とほぼ同様に、サイト閲覧で出来るようにした。現在、既存の所蔵分は完成、以後は未所蔵・補填分のコピーをアップも順次予定している。

②基礎資料の整備・補充・分類／保存・調査を行った史料の整理／書籍・資料・文献の整理（公開）

上記①のように統一総目次と対応して閲覧出来る新サイトを作成、欠本部分複写を了解を得つつ補う。また仏教関連資料のアーカイブ化に欠かせないデータ構築に際し、UT 8 第 3 水準までの表示可能文字のコード一覧の作成を継続して充実を図った。

③収蔵書籍の公開・貸出・PDF 化送信／HP 内問い合わせフォーム等からの求めに応じ無償対応

④財団公式ホームページの管理運営と大容量新サイトの開設及びクラウド FTP の設置運営（X サーバーFTP）

② 備蓄資料のデータ化

内容；『統一』誌全巻全頁など、収蔵資料中一般より問い合わせの多い資料について PDF 化し順次 HP など公開する。

《主たる実施内容》

①日宗新報（創刊号より最終号迄 PDF 化／軽量化を実施）

②統一（全巻全頁を複写新規架蔵 P D F 化新サイトに移行完了・財団 HP にて公開／補填部分も別途アップする）

③『日蓮宗事典』（日蓮宗年表・日蓮聖人遺文を含め「日蓮宗新電子聖典」として DokuWiki 上に展開する制作実務等補助作業を実施）

④『観心本尊抄』原本カラー漢訳・訓読対照データ作成→書籍化入力作業（庵谷行亨教授が現在後半を執筆中／昨年来未決）

⑤『新編日蓮宗年表』（上記③にてブラウザ読み込み USB 及び DokuWiki 上に展開公開したものの正誤を解析した）

⑥仏教関連資料のアーカイブ化に欠かせない難読漢字、ユニコード 8 第 3 水準までの表示可能文字のコード一覧の作成を更新を継続

③ 近現代資料調査保存サービス

内容；資料撮影複写保存修理（出向）サービス

《主たる実施内容》

①桐谷征一「中国石刻経・拓本」（撮影・保存処理・デジタル化・雷音洞内部拓本 6 面透視図説明作成・継続／出版は遅延として進まず）

②真訓両読妙法蓮華経並開結活字版（大正 2 年法華経普及会=本多日生企画の PDF 化、近日公開）

③佐藤鐵太郎中将書簡（燻蒸・乾燥・脱酸素保存／妹尾義郎『若人』の蒐集、データー化）

④小林一郎博士の晩年の講義（『撰時抄』『安国論』他）速記清書原稿の燻蒸・乾燥・脱酸素保存。※他は担当者の体調不良にて保留

④機関誌『統一』発行

内容；財団発行誌『統一』編集・組版・発行配布

《主たる実施内容》

① 1 ・ 4 ・ 7 ・ 1 0 月の各 1 日各 1 2 0 0 部発行／通年 4 8 0 0 部（購読者従来と変わらず／高齢化で微減始まる）

⑤近現代の日蓮聖人伝・評伝等の版權・著作権者の調査・資料化

内容；明治期からの財団刊行物の内容を解析し主要な内容を抽出・解析 P D F 化

《主たる実施内容》

①『宗義研究会誌』（明治 21 年～28 年）総目次作成・データ化用に補修・製本）

②『統一』誌掲載本多日生の行動記録のリスト化（継）

③『天晴会講演録』（全 3 巻二千頁以上の PDF 化完了・高精細と軽量の二種作成）

④法華三部経大講義（インデザインデータ化済みの再校正・微調整）

⑥明治・大正・昭和の財団周囲の活動を日録形式基礎資料化

《主たる実施内容》『統一』全巻 PDF 化したことに連動して、旧来の作業を PDF からの主要データの抽出、一部はテキストデータと重ねる

⑦創立者本多日生上人の事績顕彰及び銅像の護持

内容；日蓮宗総本山身延山久遠寺境内所在創立者銅像の顕彰・護持・献花（昨年度からは日蓮宗什師会からも献花代有り）

《主たる実施内容》①身延松本花店へ依頼し清掃・献花・銅像護持状況確認（1、1 1 月）／②本多上人命日に天妙国寺にて法要・墓参

継続事業 仏教出版支援事業（予算書 B）／ 仏教研究・教学書などの支援・人材育成（資料・技術提供）

〔基本姿勢〕 財団保有の技術・画像データ等の提供・出版環境整備等の助成

《主たる実施内容》

- ①『病院チャプレンとスピリチュアルケア』（古澤有峰）出版助成 24 万円・東京大学出版協会より刊行予定（未刊／継続・報告待ち）
- ②『近代皇室と仏教』（石川泰史氏）組版。EPAB2 キンドル化（著者の希望で amazon に出店・著者は電子ブック頒布）
- ③『中国石刻経の研究』（桐谷征一編著）組版・印刷データ構成／※作業遅れ継続／外字（作字画像）UT-8 対応文字化並列進行／停止中
- ④『法華』誌（一財団法人法華会）渡邊寶陽「法華経大講座」の組版提供の修正版作成
- ⑤『日蓮聖人五大部講義』（土屋信裕師著の組版一部印刷費助成・海鳥社から発売中）
- ⑥法華経並開・結の真訓及びルビ付組版（制作中法華経 WEB）を長崎県教化センターHP にて一般公開中）（データ無償仲介実施）
- ⑦その他本多日生上人著作など、E パブキンドルデータ作成助成

② 近現代史・法華系資料の館内 PC 及び FTP サーバーによる無償閲覧

内容；財団備蓄資料・解析資料を館内データバンク及びクラウドにて公開（FFFTP ソフトに対応）。

《主たる実施内容》

- ①データ閲覧・資料請求対応（現在、多くの要望は財団公式サイトにて『統一』誌公開総目次と連動する PDF データ）
- ③電子ブックサイトの現行 PDF 版を EPABⅢ キンドル対応に再入力完了

③ 仏教出版・資料整理の人材育成等の助成

内容；仏教書・研究書・論文発表に伴う企画・編集等の基本データの提供と技術等の指導

《主たる実施内容》

- ①中国拓本資料のデータ化（桐谷征一師蓄積拓本データを書籍化→初刊解説編も遅遅として進まず）
- ②仏教語・日蓮 1 万語超の ATOK 辞書データを提供し求めに応じて PC への組込、使用方法などサポート（継5月更新）
- ③真訓両読法華経並開結の新版（B⑦連動／作成準備／書籍化検討／本年度はデータを揃え保管）

④講演会・講習会の開催

内容；仏教教義及び日蓮教学の学習及び発表者の資質向上のため本化ネットワーク等門流を越えた交流学習会への講師の紹介・会場の運営手伝い。現在は本化ネットワーク研究会は「法華コモンズ」として年間に数十講座を開設（詳細は「法華コモンズ仏教学林」で検索を）

《主たる実施内容》

- ①法華コモンズ仏教学林に講師招聘助成を実施（講義目録及び WEB にて随時ブログ配信／組版助成した本化叢書データの提供

⑤財団版權・著作権所有の既刊本データの提供

内容；財団版權・著作権所有の入手困難既刊本データの提供

《主たる実施内容》

- ①公開著作目録等による遠隔地よりの書籍閲覧請求については電子ブックサイトに一定期間（最大 6 ヶ月）公開

継続事業 研究交流助成事業（予算書 C）／ 研究会・学習会の助成・交流等及び海外仏教徒の支援

〔基本姿勢〕 仏教徒の交流・法華系各宗派の交流支援及び海外の仏教徒への現地語經典の作成提供を行い、日本の仏教文化の発展と国際交流に資するため次の事業を行う。

①法華系各宗派の情報・データ等の提供・提携

内容；法華系諸学習会・研究会への協力・活動助成

《主たる実施内容》

- ①上記項目④に述べた通り、法華コモンズの講師招聘に関する助成金（講師招聘料助成毎回 3 万円→年間 36 万円）
- ②妙法慈石会（静岡県沼津市）の季報作成助成（最大 6 ヶ月）※継続／3 年間進展なし）
- ③法華宗陣門流法照山豊頭寺を主体とする門下統合学林についての調査（三沢檀林が一時期統合運動に協力／植物学者ロバート・フォーチュン氏の描写／→『横浜の史蹟と名勝』（昭和三年発行）『神奈川区誌』等を手掛かりに調査／古書店にて資料購入）

②海外仏教徒用教材・經典の製作・提供

《主たる実施内容》①クメール語・ヒンディー語・英語の『要約法華経』（一昨年更新）の電子ブックサイト公開（E パブ 3 対応組替え）

③ 近現代史・宗教社会学等の研究協力

《主たる実施内容》①遠隔地の研究者・図書館の要請に応じ資料検索・該当資料の送付・書籍等の入手代行

所有建物の管理運営及び活用事業（予算書 E）／ 収益事業部門 ※予算書（D）欄は共通項目

内容；財団保有の TID ビル 1～6 階は財団の公益目的事業の運営費用を中心に、管理事務・減価償却費等に充当する為テナント貸しとして運用、健全な公益目的事業遂行の資金を維持

《主たる実施内容》

- ①建物は築 29 年を迎え、維持管理・保守委託；現在はテナント収入を維持し、公益目的事業活動に供することが不可欠。当面は 10 年の延長認可となつ た公益目的支出計画の満了を収入と財団公益事業費の範疇で満了することを目指す。大幅改築は財的に不可能の見込
- ②経年劣化（築 29 年）により更新が必要なエレベータは一部部品交換、火災報知器操作盤取り替え。

頒布用出版物の刊行・編集受託（予算書 F）／ 収益事業部門

内容；広く社会に読まれる仏教書の出版販売及び受注／〔始動準備期間〕公益目的支出計画終了後に始動の可能性も

①（本年は前項建物保全を優先し予定なし）在庫書籍も極端に古いものは販売休止した。

令和 6 年度事業報告 附属明細書


令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

一般財団法人本多日生記念財団

監 査 報 告 書

令和7年5月15日

一般財団法人本多日生記念財団
理事長 大塚正純殿

監事 土屋 信裕 

私たち監事は、一般財団法人本多日生記念財団の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、財産目録及び付属資料を監査した結果、適法かつ正確であると認めます。

・ **一般財団法人 本多日生記念財団 令和6年度会計／監査文書**

・ （平成令和6年度事業・経理文書／1－1～4及付票1～2）

1－1）貸借対照表総括表

1－2）正味財産増減計算書総括表

1－3）収支計算総括表

1－4）財産目録総括表

付票－1）令和6年度 固定資産減価償却明細

付票－2）一般財団法人本多日生記念財団 令和6年度正味財産増減計算書（事業別区分経理）内訳表

以上

令和6年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般財団法人 本多日生記念財団

理事長 大塚正純殿

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの公益目的支出計画実施報告書に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

私たちは、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和7年6月13日

一般財団法人 本多日生記念財団

監事 土屋 信裕 